



島っ子だより

第24号 令和2年11月4日

文責 校長 藤瀬 安孝

海の子常会 大島の自然の恵みを感じながら

毎年、大島村漁協のご協力をいただきながら実施している、「海の子常会」を、2日（月）に行いました。

最初は、アジのさばき方を教えてもらいながら、骨から身を切り分けたり、皮をはいたりしました。家でさばいた経験がある子は、手際よく上手にさばくことができていました。初めて参加する5年生も、慎重に包丁を使い、誰もけがすることなく、一人2～3匹のアジを切り身にしました。

その後、さばいたアジを、機械を使ってミンチ状にし、塩と砂糖と水を混ぜて、すり身にします。それを揚げて、ぷりぷりのすり身揚げを作りました。帰り間際には、自分たちで作ったすり身揚げの試食をしました。シンプルな味付けでも十分なおいしさと新鮮な食感を堪能することができました。試食後は「家でも作ってみよう!」と話す子もいました。手作りのおいしさや楽しさを味わうだけでなく、改めて、大島や平戸、我が国の自然の恵みのありがたさについて考える学習にもなりました。

準備とご指導いただいた、漁協組合長様と女性部の皆様、ありがとうございました。



11月からの新体制

11月から、1・2年担任の大川先生が、出産のために休みに入りました。後任には、これまで本校で複式支援非常勤を務めていた松永先生が引き受けます。

年度途中での交代となりますが、これまで1・2年生の指導にも関わってもらっていたので、無事にバトンタッチすることができました。

松永先生の後任は、長瀬先生が務めます。これまでも、学習をサポートする仕事を何年も経験されていますので、さっそく各学年の授業に入って、大島小の一員として力を発揮してもらっています。



木曜日以外の毎日、平戸からフェリーに乗っての通勤です。「私は声が大きいので、二つの学年が一つの教室で勉強する複式学級で迷惑をかけないか心配です・・・」とおっしゃっていました。（大丈夫ですよ。藤瀬注）趣味で、お菓子作りなどもされる元気な先生です。

2学期も半分が終わりましたが、新しい体制で、充実の秋を子どもたちと元気に過ごしていきたいと思います。

